

二〇二四年度 一般選抜前期B日程

社会人入学試験

書道実技問題

注意事項

- 一、試験開始の合図があるまで、問題用紙を開いてはいけません。
- 二、提出作品はすべて本学指定の用紙を用いてください。
- 三、提出作品には必ず左下に**九桁の手続受験番号**を鉛筆で記入してください（一般選抜前期B日程の受験生は、受験番号を記入しないよう、注意してください）。
- 四、提出作品は全部で四枚です。設問順に重ねて机上において退出してください。
- 五、書き損じ及び残余の用紙は一切持ち帰ってはいけません。
- 六、問題用紙は、試験終了後持ち帰ってください。

一 (A) 別紙の「九成宮醴泉銘」の指定部分を半紙に臨書しなさい。

「並地列州縣人」

(B) 別紙の「高野切第一種」を半紙中央に原本と同形式で原寸臨書しなさい。

「歌一首（作者名を含む）」

二 次の(A)、(B)の内、いずれかを選択して半紙に創作しなさい。

(A) 「餘事作詩人」 (行書体による)

(B) 「久方のひかりのどけき春の日にしづ心なく花のちるらむ」

(漢字かな変換可、変体がな使用可、ちらし自由)

三 次の文を半紙に読みやすく書きなさい。

「学びて時に之を習う。亦説ばしからずや。朋、遠方自り来たる有り。亦樂しからずや。」

(漢字、かな変換不可、変体がな使用不可、句読点省略)

一 (A) 「九成宮醴泉銘」



一 (B) 「高野切第一種」

